

## ◇ インドニュース (2020年5月) ◇

### 1 内政

#### 【連邦政府/連邦議会】

5月7日：ナイドゥ上院議長及びビルラ下院議長は、新型コロナウイルスの拡大による現状に鑑み、両院議会事務局に対し、ビデオ会議での議会委員会実施の可能性を検討するよう指示した。

5月12日：モディ首相は、新型コロナウイルス拡大による経済低迷を受け、合計20兆ルピーの経済活性化パッケージの実施を発表した。

5月13日：シタラマン財務大臣は、経済活性化パッケージのうち主に中小零細企業などの支援に係る施策を発表した。

5月14日-17日：シタラマン財務大臣は、経済活性化パッケージとして、13日に引き続き、移民労働者及び農業従事者を含む貧困層の支援に係る施策、投資促進及び防衛装備の国産化推進などの各種施策を発表した。

5月27日：シャルマ議会常設委員会（内務）委員長は、メディアに対し、新型コロナウイルスに係る都市封鎖後初めて6月3日に委員会を開会すると述べた。

5月28日：第二次モディ政権発足1周年を迎えるにあたり、モディ首相は、国民向けのメッセージを現地新聞各紙に寄稿した。

#### 【 kongress】

5月1日：スルジェワラ・kongress・スポークスマンソンは、内務省が発表した再度のロックダウン延長指示に対し、モディ首相をはじめ誰一人として公式の演説などによる発表を行わなかったと中央政府を批判するとともに、延長の目的及び出口戦略、経済低迷対策につき発表するよう中央政府に要求した。

5月6日：kongress党指導部は、kongress政権州の州首相らと、新型コロナウイルスに係る情報共有のためテレビ会議を実施した。ソニア・ガンディー暫定総裁率いる会議参加者らは、中央政府によるロックダウン適用時期の基準が不明、中央政府は現場の状況を把握していないなどとして、中央政府に異議を唱えた。

5月26日：ラーフル・ガンディー・kongress前総裁は、メディアに対し、新型コロナウイルスの陽性件数が指数関数的に増加しており、都市封鎖の目的は失敗した、州政府は中央政府からの支援を得られていないなどと述べた。

### 2 経済

#### 【インド経済（新型コロナウイルスに伴う経済対策第2弾の公表）】

5月13日-17日：シタラマン財務大臣が新型コロナウイルス感染拡大防止のための全土ロックダウン延長に伴う経済的影響や今後の経済活動再開に向けた対策として経済対策第2弾を公表したところ、概要は以下の通り。

#### ポイント

(1) 今回の一連のパッケージの事業規模は、第2弾分のみでは11.0兆ルピー。更に、医療関係緊急措置(1500億ルピー)、3月の経済対策第1弾(1.7兆ルピー、貧困層対策などの社会援護(Social Protection)セクター向け)及びRBI(中央銀行)による流動性供給プログラム(合計8.0兆ルピー)といった既に実施されている分を含めて、合計で20.97兆ルピー程度(GDP比10%程度)。

(2) 経済対策第2弾は、①主に中小零細企業を中心とするビジネス向け対策、②主に出稼ぎ労働者や農民などインフォーマルセクターの貧困層及び住宅市場対策、③農業及び食品加工等の周辺分野向け対策、④8つの産業セクターにおける改革及び⑤社会セクター(雇用、医療及び教育等)における政府の改革及び州政府財政対策の5つに大別される。

### 3 外交

(印・タイ関係)

5月1日：インド外務省は、モディ首相がブラユット・ジャンオーチャー・タイ首相と電話会談を実施した旨発表した。

(印・ポルトガル関係)

5月5日：インド外務省は、モディ首相がアントニオ・ルイス・サントス・ダ・コスタ・ポルトガル首相と電話会談を実施した旨発表した。

(印・エチオピア関係)

5月6日：インド外務省は、モディ首相がアビィ・アハメド・アリ・エチオピア首相と電話会談を実施した旨発表した。

(印・EU関係)

5月7日：インド外務省は、モディ首相がドナルド・トゥスク欧州理事会議長と電話会談を実施した旨発表した。

(印・イタリア関係)

5月8日：インド外務省は、モディ首相がジュゼッペ・コンテ・伊首相と電話会談を実施した旨発表した。

(印露関係)

5月9日：モディ首相は、露の戦勝75周年を祝うメッセージをツイートし、「戦勝75周年に当たる本日の厳粛な追悼において、インドは露とともに立つ。第二次世界大戦において多くのインド人兵士も犠牲となった。プーチン大統領と露国民に心からの挨拶を送る。」と述べた。

(印中関係)

5月10日：現地メディアは、9日にインド軍と中国軍がシッキム州北部の印中国境付近で対峙した旨報じた。本件は、シッキム州北部のNaku La 地区で発生した。インド人兵士4名及び中国軍兵士7名が負傷したとされ、両軍計約150名を巻き込んだとされている。

5月14日：インド外務省は、中国との実行管理ライン(LAC)付近における動きについて、スリバスタバ印外務省報道官コメントを発表した。同報道官は、「インド政府及び中国政府は、印中国境の全ての地域における平和と安定の維持を特に重要視している。モディ首相と習近平・中国国家主席は、武漢(2018年)及びチェンナイ(2019年)での非公式首脳会談において、両国が国境付近での平和と安定の確保のために努力し続けることを再確認した。これは、二国間関係発展全体にとって重要である。両首脳は、両軍に対して、相互・平等安全原則含めた両国で合意された様々な信頼構築策を真摯に実施すること、国境付近での衝突を防ぐ為に既存の構造及び情報共有メカニズムを強化することを指示していた。その結果、印中国境地域は、非常に平和である。しかし、状況によって、LACにおける配置の捉え方の差異により、LACの共通の認識を持っていけば避けられたであろう状況が現場で生じたことがある。インド政府は、印中国境地域における平和と安定の維持にコミットし続ける。」と述べた。

(印米・豪・イスラエル・日・伯・韓関係)

5月11日：ジャイシャンカル外相は、ポンペオ米務長官、ペイン豪外相、リヴニ・イスラエル外相、茂木外務大臣、アラウージョ伯外相、康京和・韓国外相とテレビ会談を実施した。同会談では、新型コロナウイルス対策、世界保健マネジメント、経済回復、移動制限等について議論された。

(印・デンマーク関係)

5月14日：インド外務省は、モディ首相が mette・フレデリクセン・デンマーク首相と電話会談を実施した旨発表した。

(RCEP)

5月17日：現地メディアは、15日にインドのRCEP再加入に関する新たな提案への対応の期限を迎えたところ、インド外務省高官が新型コロナウイルス後の中国に関する世界的な懸念がインド政府のRCEPに対する反対を強くしたと述べた旨報じた。

(印豪関係)

5月21日：現地メディアは、6月4日に印豪首脳テレビ会談が実施される予定である旨報じた。同会談は、新型コロナウイルス拡大後、モディ首相にとって初めての二国間テレビ首脳会談となる。

(印・パキスタン関係)

5月22日：モディ首相は、パキスタンのカラチ近郊で発生した飛行機事故に対する追悼のメッセージをツイートし、「パキスタンにおける飛行機事故による人命の損失に深く悲しんでいる。遺族の方々への哀悼の意を送るとともに、負傷者の早期回復を祈る。」と述べた。

(印・スリランカ関係)

5月23日：インド外務省は、モディ首相がゴタバヤ・ラージャパクサ・スリランカ大統領と電話会談を実施した旨を発表した。

5月27日：インド外務省は、モディ首相がマヒンダ・ラージャパクサ・スリランカ首相と電話会談を実施した旨を発表した。

(印・モーリシャス関係)

5月23日：インド外務省は、モディ首相がプラヴィン・クマール・ジャグナット・モーリシャス首相と電話会談を実施した旨を発表した。

(印・バングラデシュ関係)

5月25日：インド外務省は、モディ首相がシェイク・ハシナ・バングラデシュ首相と電話会談を実施した旨を発表した。

(印・UAE 関係)

5月25日：インド外務省は、モディ首相がムハンマド・アブダビ皇太子と電話会談を実施した旨を発表した。

(印・エジプト関係)

5月26日：インド外務省は、モディ首相がアブドゥルフアッターハ・エルシーシ・エジプト大統領と電話会談を実施した旨を発表した。

#### 4 日印関係

5月7日：ジャイシャンカル外務大臣は、茂木外務大臣と電話会談を実施した。

##### 今月の注目点：日印外相電話会談

5月7日、午後3時30分頃から約30分間、茂木敏充外務大臣は、ジャイシャンカル・インド外務大臣と電話会談を行ったところ、概要は以下のとおりです。

1. 茂木大臣から、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、インドに滞在する在留邦人の帰国に関するインド政府の支援に謝意を表し、引き続き、邦人の安全確保への協力を依頼するとともに、インドにおける日本企業の活動の再開に向けた支援も要請しました。また、両大臣は、それぞれの国に滞在する自国民の帰国支援について一層協力することで一致しました。
2. また、茂木大臣から、新型コロナウイルス感染症に関する日本からインドへの協力について説明し、ジャイシャンカル大臣から謝意が表明されました。両大臣は、新型コロナ感染症対策に関する双方の国際協力につき意見交換を行い、引き続き両国で緊密に連携していくことを確認しました。
3. さらに、茂木大臣から、状況が落ち着き次第、再び二国間関係を力強く前進させたい、中でも、閣僚級「2+2」のフォローアップを始めとする安全保障・防衛面での協力や、経済・経済協力面での協力を進めたい旨述べました。これに対し、ジャイシャンカル大臣からも、今後も様々な分野で日印協力を進めていきたい旨述べ、両大臣は、「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」に基づく二国間関係を一層強化していくことで一致しました。